

教育目標：「自ら考える生徒 進んで行動する生徒 最後までやりぬく生徒」



白中だより

<https://usuchu.city-niigata.ed.jp/>

ブログ更新しています



令和6年12月23日 発行
新潟市立白井中学校

電話 025(373)5402

FAX 025(373)5469

E-mail j603usuchu@city-niigata.ed.jp

○入賞おめでとう！ 第50回 東北電力中学生作文コンクール 秀賞 3年1組 奥田 ひかり 題名「大福で世界を救う！」

歴史ある標記コンクールに、3年生奥田さんが応募をし、見事入賞いたしました。
今年の基本テーマは「わたしのエネルギー」で、応募総数は385校から10,884名でした。最優秀賞（文部科学大臣賞含む）1編、優秀賞6編、秀賞14編、佳作56編の計77編が入賞作品に選ばれました。

この作品は、奥田さんのエネルギーの源である「大福」を通して、世界の平和を目指していきたいというチャレンジングな内容です。読ませてもらった私も元気エネルギーをもらえる作品でした。

右のリンクから、ぜひお読みください。 <https://sakukon.tohoku-epco.co.jp/sakubun50/summary.html>



○2学期終業式 校長講話「心の成長の時代を生きる」

猛暑が続いていた8月22日にスタートした2学期ですが、今日で一区切りをつくことになります。皆さんは、82日間あった白井中学校での生活を振り返って、どんなことを思い出しますか。2学期の主な出来事で、印象に残っているなあと思うものを思い浮かべてみてください。「体育祭」「部活動の新人大会」「合唱祭」「生徒会役員選挙」その他、いろいろな出来事が思い出されることでしょうか。

私が印象に残っていることの一つに、体育祭の保護者参加種目「綱引き」があります。これは、保護者や地域の皆さんと一緒に体育祭を楽しむことを目的に、生徒会本部の発案で実現した種目でした。数年前までは、新型コロナウイルス対策もあり、人と人との交流が大幅に制限されていました。他と交わることを避けてしまうような風潮がある中、生徒会本部の素晴らしいチャレンジだったと思います。そして、実際には保護者や地域の皆さんが本当にたくさん参加してくれて、生徒の皆さんと一緒に綱引きを楽しむことができました。そこにはたくさんの笑顔があふれていて、本当に和やかないい雰囲気を作り上げてくれました。そして、私たちは普段から保護者や地域の皆さんに支えられて、充実した学校生活を送ることができているのだ、ということを実感しました。

今、社会に目を向けると、地球規模で様々な問題が沸き起こっています。気候変動や急激な人口減少と経済の不安定。社会の不安定さにより国内で内戦がおきたり、周囲の国に戦争を仕掛ける国もあり、私たちの平和な生活、穏やかな世の中が危険にさらされています。

あるアメリカの学者によれば、人類100万年の発展の歴史の中で、初めの1回目は農業の広がりによって、2回目は市場化、産業化、情報化など近代化による経済成長で人類は大きな発展を遂げてきました。しかしながら、現在の日本がそうであるように、今後大きな経済成長が見込めない中、人類はその発展が見通せなくなっています。そのために、世界規模で不安定な状況がどんどん広がりつつあります。

では、経済成長が望めないこの状況を私たちはどのようにして発展させていけばいいのでしょうか。それはモノやコトに頼らない、「心の成長」「精神的な豊かさ」すなわち「ウェルビーイング」を切り口として発展していくと考えることが大切なのだそうです。そのために私たちは、周りにいる多くの仲間と関わり、相手に寄り添い話を聞き、相手のことをよく知ること。そしてこのことは、自分自身をよく理解することにも繋がります。そして、仲間と共に心の成長を足掛かりに、よりよい世の中を築いていけるよう、小さな挑戦を積み重ねていくことが大切です。

令和7年を目前にして、君たちのこれからの成長を期待しています。良い年を迎えてください。